

シンポジウム課題 <第46回～>		
第46回	平成6年	子宮内環境と胎児
第47回	平成7年	卵胞発育の調節機構—局所因子を中心として—
第48回	平成8年	婦人科癌の浸潤と転移—その基礎と臨床—
第49回	平成9年	胎児の発達と母児相関 中高年女性の加齢による変化
第50回	平成10年	黄体機能の調節とその異常 母子感染の診断と対応
第51回	平成11年	卵巣がん化学療法の基礎と臨床 母子間免疫応答の異常
第52回	平成12年	子宮収縮機構とその制御 子宮内膜の機能とその異常
第53回	平成13年	受精機構とその異常 ヒト絨毛細胞の機能とその異常
第54回	平成14年	子宮頸癌の発生と進展—その制御を目指して— 胎児wellbeingの臨床的評価法—その精度と限界—
第55回	平成15年	妊娠中毒症の病因—分子細胞生物学的視点から— 子宮内膜症の治療ストラテジー
第56回	平成16年	胎児の発育・分化とその異常 配偶子形成とその成熟の分子機構 卵巣癌の進展とその制御 安全性および確実性の向上を目指した婦人科手術の工夫
第57回	平成17年	早産の予防 ホルモン補充療法—その基礎と臨床— 子宮体癌の予後因子に基づいた治療戦略 肺塞栓—その予防と治療—
第58回	平成18年	妊娠と栄養・代謝—妊娠中の適切な栄養管理をめざして— PCOSの病態生理と臨床 子宮頸部初期病変の管理と治療—標準化をめざして 安全性の向上をめざした婦人科良性腫瘍に対する内視鏡手術
第59回	平成19年	子宮筋腫の発育制御とその管理 I.子宮筋腫の発育とその制御 子宮筋腫の発育制御とその管理 II.子宮筋腫管理の実際とその問題点 多胎妊娠の予防と管理 I.多胎妊娠の予防 多胎妊娠の予防と管理 II.多胎妊娠に伴うリスクとその管理
第60回	平成20年	ハイリスク妊娠・分娩の管理 卵の発育・成熟・老化機構の解明と臨床応用 婦人科腫瘍とエピジェネティクス—臨床へのトランスレーション— 産婦人科医不足の解消を目指して
第61回	平成21年	産科出血と胎盤異常 中枢神経関連生理活性物質の生殖機能へのかかわり 卵巣がんの新たな治療戦略—基礎から、そして臨床から—
第62回	平成22年	新生児脳障害の減少に向けて 子宮内膜の機能調節とその病態 婦人科癌における妊孕性温存治療（手術および薬物療法）
第63回	平成23年	流産の原因と対策 子宮体癌治療戦略の新展開
第64回	平成24年	妊娠とインスリン抵抗性 中高年に対する女性医学の展開
第65回	平成25年	婦人科癌の浸潤・転移機構の解明と臨床応用 妊娠高血圧症候群の基礎と臨床—予防・治療の新戦略に向けて 多嚢胞性卵巣症候群（PCOS）の病因・病態と管理
第66回	平成26年	妊娠後半期における妊娠維持機構とその破綻 難治性卵巣癌の克服を目指して 子宮内膜症の病因・病態解明と治療戦略
第67回	平成27年	卵巣のダイナミックな変化の神秘に迫る—臨床へのフィードバックを目指して— 子宮頸部腫瘍の病態に関する新知見—診断・治療法の開発に向けて—
第68回	平成28年	子宮内環境からみた胎児well-being評価法の検討 子宮悪性腫瘍に対する低侵襲手術の確立に向けて
第69回	平成29年	周産期における炎症：その生理と病態 生殖医学の最先端：不妊症治療におけるブレイクスルーを目指して
第70回	平成30年	婦人科がん治療戦略としての個別化医療の展開—基礎から臨床応用へ 生殖・周産期分野の前方視的研究から得られた最新の知見と先制医療への展望
第71回	平成31年	ゲノム研究に基づく婦人科がんの発生・進展機構の解明 妊孕性改善と生児獲得を目指したpreconception care
第72回	令和元年	婦人科腫瘍・類腫瘍の生物学的特性を標的とした新たな治療薬の開発 インタクトサバイバルを目指す新しい診断・治療のアプローチ
第73回	令和2年	子宮頸癌征圧に向けて～予防と初期病変管理の最前線～ 妊娠維持のための胎芽・胎児環境解析の進歩
第74回	令和3年	新たな診断・治療開発に向けた婦人科がん発生・進展の分子機構の解明 予後と関連づけた胎児・胎盤機能の基礎的・臨床的病態解明と治療戦略
第75回	令和4年	新時代の臨床応用を目指した卵巣がん個別化医療への試み 先端的な解析手法を用いた胎児・胎盤の発育・機能異常に関する分子基盤の研究